災害があり、

の

災害時における市

今プロ の イ

ン

通常業務だけ カ月ほど前に

カ月ほど前

総社市総合計画宮間全

5月25日から6月25日までの1カ月間、無作 為抽出の 18 歳から 75 歳までの市民 2000 人を対 象に、市民満足度調査を実施しました。回答は郵送 とインターネットで受付。991人から回答があり、 回答率は 49.6%でした。

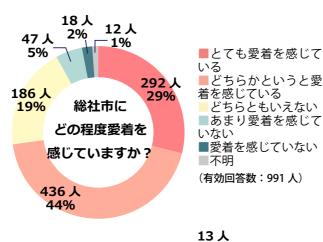
この調査結果を、総合計画審議会で提示。審議 会委員から、調査方法や施策の内容について意見 が出されました。

調査結果の詳細は、市ホームページに掲載して います。調査へのご協力ありがとうございました。

問い合わせ 政策調整課(☎⑨ 8213、http:// www.city.soja.okayama.jp)



		- かといえば ≧・重要	满足 重要
		満足度	重要度
1)	だれもが住みたくなる総社	3.4	4.1
1	子育て 「子育て王国そうじゃ」をさらに進める	3.5	4.3
2	社会保障 いつまでも総社で安心して暮らす	3.3	4.3
3	住宅・生活基盤 総社に住み続けたくなる	3.6	4.2
4	移住・定住促進 魅力ある総社に住んでもらう	3.4	3.8
5	防災・消防 総社を大地震時の支援拠点にする	3.3	4.0
2)	だれもが働きたくなる総社	3.2	4.1
1	雇用 総社で「働きたい」「雇用したい」を応援する	3.2	4.2
2	農林業 総社の農林業を元気にする	3.1	3.9
3	商工業・物流 総社の企業・起業を応援する	3.3	4.1
3)	だれもが学びたくなる総社	3.3	4.1
1	学校・幼児教育 だれもが行きたくなる学校をつくる	3.3	4.3
2	家庭教育 家庭や地域の学びを応援する	3.2	4.1
3	スポーツ・文化・生涯学習 総社で生涯学び、スポーツなどをする	3.3	3.9
4)	だれもが訪れたくなる総社	3.2	4.0
1	観光 総社の魅力を全国発信する	3.1	4.0
2	都市・社会基盤 地域の実情に応じた土地活用と都市基盤の整備	3.0	4.0
3	自然・環境 美しい総社を未来へつなげる	3.4	4.1
5)	だれもが集いたくなる総社	3.1	3.8
1	市民参加 市民みんなで総社を創る	3.2	3.8
2	広域連携 岡山・倉敷などと連動する	3.1	3.8
3	市役所	3.0	3.9



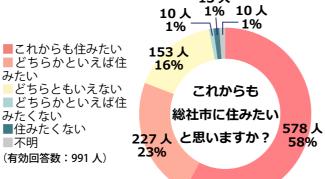
みたい

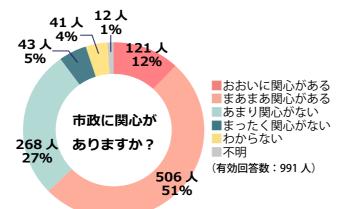
不明

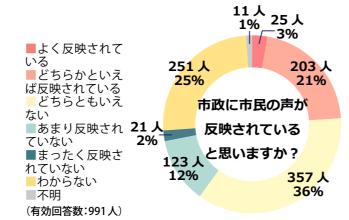
3.0

市役所を改革する

みたくない







前年に比べると、総社市に住みたいと思ってい る人は、20から50歳代で増加しています。

市では、西日本豪雨からの復興のため、被災者 を中心にアンケート調査を実施する予定です。ご 協力をお願いします。



フリーマーケットで支援物資を仕分ける

で情報発信することで、

気持ちで取り組みました。 もっており、 帰ろうという意気を全員が ケッ できることは全部して でも高校生をはじ 市役所のフリ 私も前向きな マ

> 思います。しかし、全員がず薄れていくのが自然だと 熱い気持ちをもち全力で に生かして (県立大学3年生 この姿を忘れず、 いきたいと思い

作業を行っ

た際には、

の重労働にもかか

わら 炎天 冢屋の災害ごみを運び出す

の甚大さを痛感 訪れて初めて、

しま

したことです。

被災地を

そのあまり

史跡巡りを行いました。 り組みを実施するため、 と連携し、 社市市民提案型事業を活用 をするようなスピードでサ してサイクリングで市内の する会は、 ローンで撮影-クリングをすること) 散走サイクリング 備路のまちを元気に 地域活性化の取ら会は、関係機関 (散歩 総 を

レッ 力を伝えたいと思います で見たことのな クリングル (総社吉備路商工会 した。 今後は、 ンの散走映像で、 の配布を広め、 作成したパンフ 石橋祐也さん の提案やド 地域の 今ま

実施. どの喜びの声をいただきま 月15日と10月13日の2日間 市の観光を楽しみたい」 容であった」、 くの古墳を見ることがで イクリングだけでなく、 イクリングの魅力を堪能 と考えている 心身ともに充実した内 イクリング体験会を 総勢 17 参加者からは、 「再度、 ます 総社 サ な 多

津元有里沙さん)

つれ、 さを感じました。 えており、 めとするボランティアの ね体力的に疲弊していくに と思っていても、 被災者の助けになりたい ためになるのかを常に考 どうすればより被災者 その気持ちが意図せ 総社市の絆の強 月日を重

務に携わりました。

最も印象的だったこと

災害ボランティアに参

り見て学びたい気持ちで業 役所の活動や実状をしっ

備中国分寺前を散走サイクリング

そうじゃ特産商品シリーズが当たる

今月の『広報そうじゃ』を 読んで、次のクイズに答えて ください。

Q 地元初開催となった大 相撲総社場所。西仮設住宅を 慰問したのは、琴奨菊と●●

【応募方法】はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、 市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集部へ。 正解者のなかから2人に「そうじゃ消防署カレー」1個と「そ うじゃ小学校ライスカレー」2個、「そうじゃ赤米がゆ」1個 をセットで贈ります。いただいた意見などに対しては、担当 課から連絡することがあります。

【応募期限】 平成31年1月4日金

【10月号の答え】 フリーマーケット

【10月号の当選者】 窪津富夫さん(小寺)、加藤幸子さん(清音柿木) [応募総数 13 件]

【応募先】 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所市政情 報課☑ shisei@city.soja.okayama.jp

人口・世帯数(平成30年11月1日現在)

人口 69,081 人 (前月比+40人)

(うち外国人登録 1,424 人 前月比+ 28 人)

男 33,647 人(前月比+33人) 女 35,434 人 (前月比+7人)

世帯数 27,666 世帯(前月比+57世帯)

憲 章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化には ぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつ くることにつとめます。

1 郷土を大切に

美しい環境をまもりましょう。

1 生涯学び

明るい家庭を きずきましょう。

1 たがいに助け合い

あたたかいまちを つくりましょう。

市の花・木・

◎市の花 / れんげ ◎市の木 / もみじ ◎市の鳥 / タンチョウ